

<議論の前提>

- ① NFにおいて、将来、専務理事や代表理事として組織運営の担い手となる人材の育成に取り組むことは重要。
- ② IF等における日本人役員の数を増やし、スポーツ界における我が国の発言力を高めるとともに、国際的なルール作りなどの決定過程に積極的に参画していくことは重要。一般的に、IF役員に就くためには、NFにおいて様々な知識・経験を得ながら実績を積み重ねることが必要（ただし、例外もある）。

<論点>

理事の在任期間の上限を原則として10年（例外措置として14年）とする規定の遵守を求めることにより、上記①及び②について、具体的な支障が生じるか否か。

1. これまでは「平理事→常務理事→専務理事→代表理事」といったステップアップをしていく過程で人材育成を行ってきたとして、今後も従前の方法を踏襲しなければ、組織運営の担い手が育成できないのか。
2. 理事の候補となり得る人材を各種委員会等に配置し、NF運営に必要となる知見を高める機会を設けることなどにより、NF運営の担い手となり得る人材を計画的に育成していくことができるのではないか。
 - …4頁のような新たなキャリアアップの在り方は考えられないか。
 - …理事は、法人の業務執行の決定、職務執行の監督及び代表理事等の選定と解職を行う法人の中心的なガバナンス機関である理事会の一員として、善管注意義務及び忠実義務を負うとともに、任務を怠った時は損害賠償責任が発生し得るなど重い責任を負う。このため、理事に就任する前段階で、組織運営や業務執行について相当程度の知識・経験を積むことが求められるのではないか。
3. IF役員ポストを獲得する上での実績の積上げ、IFとの関係構築等には、理事(a member of the board of trustees)として長期間在任することが求められるのか。
 - …4頁のような新たなキャリアアップの在り方は考えられないか。
 - …5頁のとおり、日本人のIF役員（27人）について、NFから聴き取り調査を行ったところ、初めてIF役員に就任した時点におけるNF理事在任期間は、10年未満が半数以上（15人）であり、14年を超えるのは5人であった。競技ごとにIFの組織運営の在り方は異なり、IF役員への就任の経緯も個々に異なるが、原則2(3)②の遵守がIFポストの獲得を困難にするとはいえないのではないか。

<その他の論点>

4. 原則2(3)②について、代表理事のみ、あるいは代表理事又は業務執行理事に限定して適用することについて、どのように考えるか。

…仮にこのような考え方を採る場合、業務執行理事を10年（又はそれ以上）、代表理事を10年として、連続して20年（又はそれ以上）の在任が可能であり、平理事（非業務執行）としての在任期間まで含めれば、事実上、無制限と等しくなるのではないか。

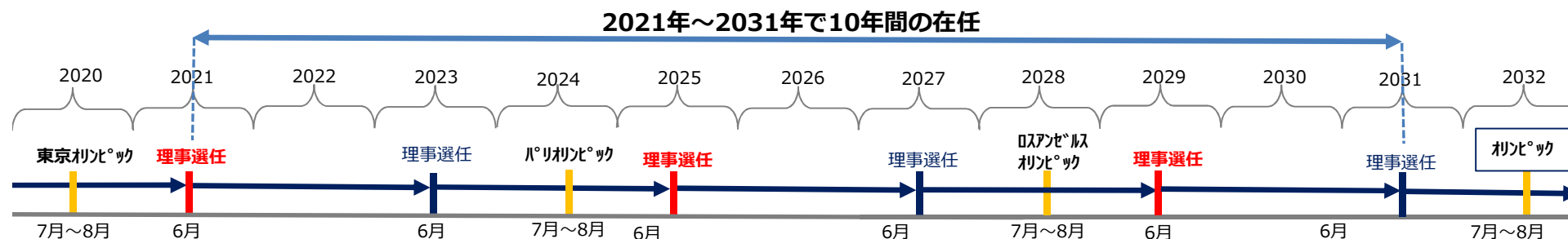
5. オリンピック・パラリンピックの4年サイクルに合わせて、理事の在任期間の上限を原則として12年にすべきとの意見について、どのように考えるか。

…夏季競技の場合、オリンピック開催年には理事の改選を行わず、翌年の5月～6月に開催される定時社員総会又は定時評議員会において改選を行うことが一般的である（オリンピックの約10か月後に改選）。

…NFの業務は競技力向上のほか、普及・マーケティングやガバナンスの構築など多岐にわたる中で、オリンピックの4年サイクルと連動しているのは競技力向上に係る業務であると考えられる。

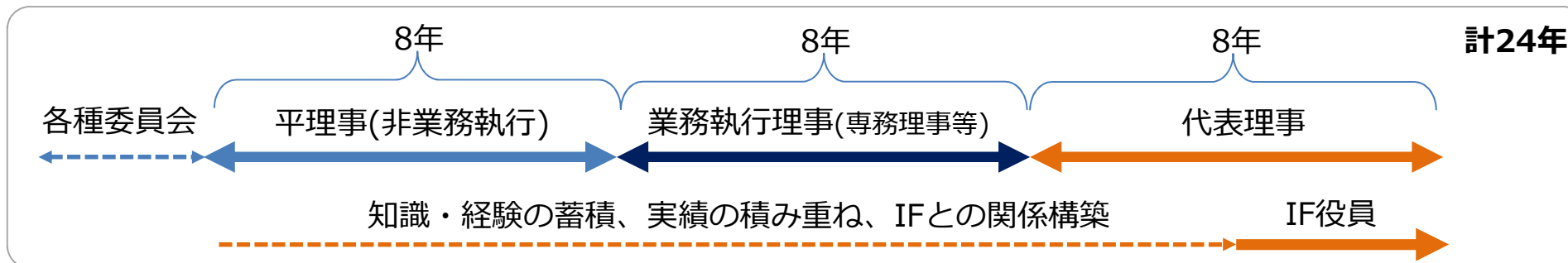
仮に、理事就任の起点をオリンピックの翌年とした場合、当該理事は3回後のオリンピックの前年に10年に達することとなるが、そのような場合は、各NFにおいて、例外措置の対象（※）となるか否かについて個別に検討すればよいのではないか。

※ 当該理事の実績等に鑑み、特に重要な国際競技大会に向けた競技力向上を始めとする中長期基本計画等に定める目標を実現する上で、当該理事が新たに又は継続して代表理事あるいは業務執行理事を務めることが不可欠である特別な事情があるとの評価に基づき、理事として選任された場合

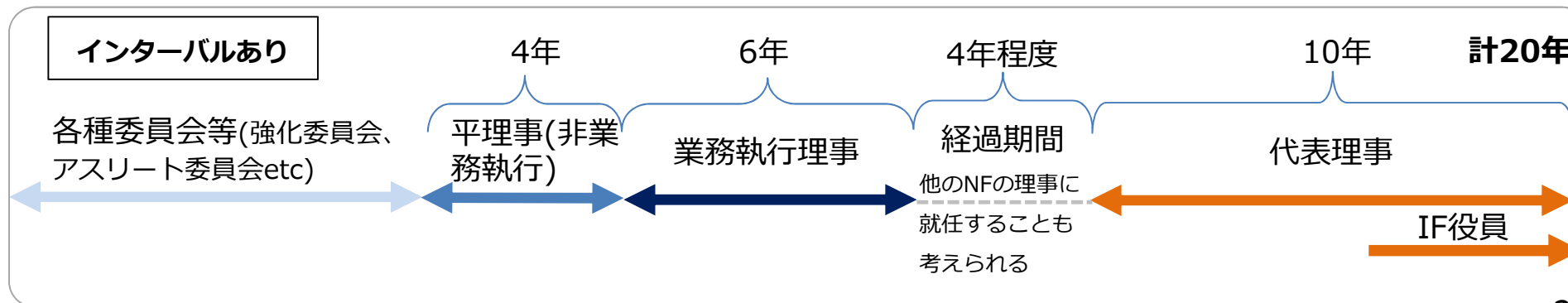
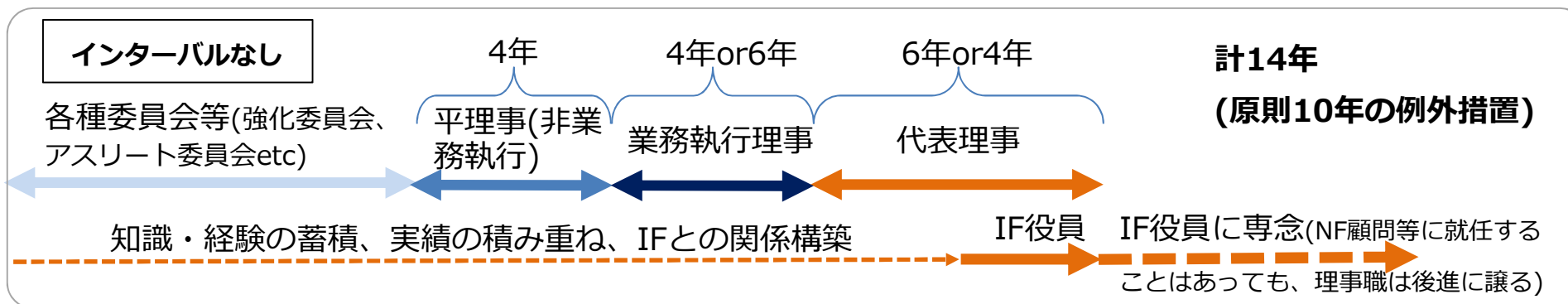


中央競技団体における理事のキャリアパスについて（イメージ）

<従来ステップアップのイメージ>



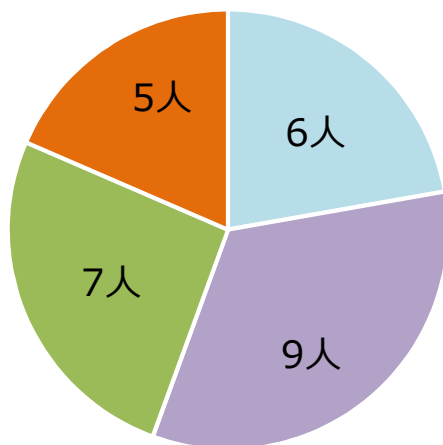
<今後のステップアップのイメージ>



(参考) 日本人IF役員の経歴に関する調査結果

- 2019年4月1日時点での日本人のIF役員は27人、25団体。
- これらの日本人IF役員について、NF理事としての在任期間及びIF役員としての在任期間をNFから聴き取った結果は以下のとおり。

1. IF役員に最初に就任した時点でのNF理事歴



■ 0年 ■ 1年～10年 ■ 11年～14年 ■ 15年以上

2. IF役員に最初に就任した時点でのNF理事歴が長い例

- ・ウェイトリフティング 26年
- ・スキー 18年
- ・サッカー 17年
- ・体操 16年
- ・ハンドボール 16年

3. IF役員に最初に就任した時点でのNF理事歴が無い又は短い例

- ・セーリング、フェンシング、スポーツクライミング、スケート、ホッケー、空手 0年 (NF理事歴無し)
- ・ゴルフ、ラグビー 1年
- ・バスケットボール 2年

※ なお、IF副会長を務めるNF理事から個別にヒアリングを行ったところ、以下のような意見があった。

- ・ IF役員ポストの獲得には、NFのバックアップ、戦略的な取組が必要である。
- ・ IF役員ポストの獲得に向けて実績を積み上げ、また、IF役員就任後に更なる上位職を目指す上では、オールジャパンで支える必要があり、NFの理事であることが重要である。